

環境調査結果のお知らせ

令和7年8月18日13時から浦ノ内湾の環境調査を実施しました。

概況

検鏡の結果、魚類に対して有害なカレニア・パピリオナセアが最高で19 cells/mL、シャットネラ属が最高で177 cells/mL、タカヤマ属が4,100 cells/mL確認されました。シャットネラ属は漁業被害が懸念される100 cells/mL（警戒基準値）を上回っています。海や養殖魚の状態に応じて、餌止めなどの慎重な養殖管理をお願いします。今後、タカヤマ属はさらに増殖する可能性がありますので、引き続き注意してください。

また、すべての定点において表層から2 m層水温が約30℃以上となり、特に表層では多くの定点で32℃に達しています。さらに、鳴無の4 m及び5 m層では溶存酸素量が1.0 mg/L未満となるなど、湾奥部の中層が貧酸素状態になっていますので、十分注意してください。

海や養殖魚、貝類の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

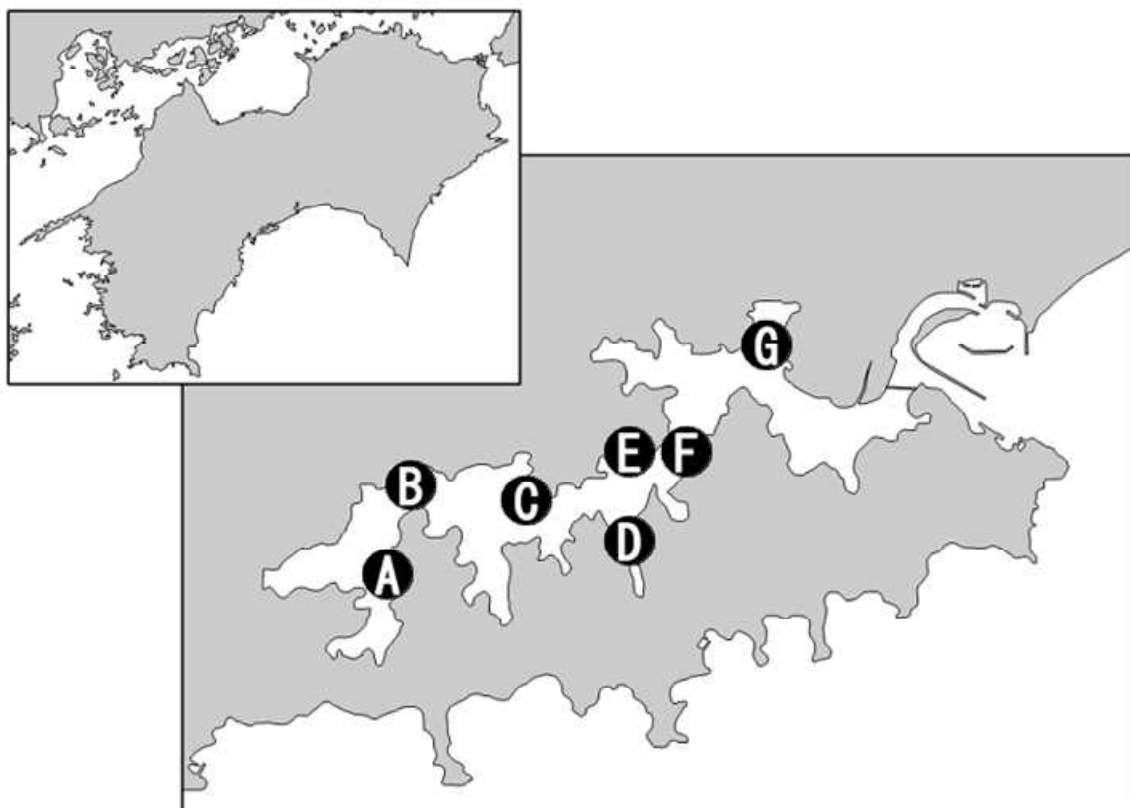
調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン			
	深度	水温	塩分	溶存酸素	カレニア・	シャットネラ	タカヤマ	珪藻
	(m)	(℃)		(mg/L)	パピリオナセア	属	属	
A 鳴無 (2.4m) 【13:53】	0	31.8	30.3	4.1	0	7	60	-
	2	30.3	30.8	0.8	0	177	1,150	-
	4	28.9	31.0	0.0	0	27	80	-
	5	28.9	31.2	0.7	0	14	100	-
	底層 8.5	28.6	31.3	1.0	0	3	0	-
B 中学校前 (2.5m) 【14:01】	0	31.7	30.0	5.8	0	0	10	13,500
	2	31.6	30.0	5.7	0	2	20	13,100
	5	29.0	31.2	2.9	0	2	60	800
	10	28.4	31.5	1.8	0	0	0	60
	底層 11.5	28.4	31.5	0.9	0	1	0	0
C 目ノクソ (3m) 【14:13】	0	32.0	30.2	5.0	0	0	50	6,500
	2	31.7	30.3	4.9	0	0	80	2,700
	5	29.1	31.2	3.5	3	0	360	120
	10	28.5	31.5	3.5	0	0	0	80
	底層 15	27.9	31.6	1.5	0	0	0	20
D 福良 (2.4m) 【14:23】	0	32.2	30.5	6.6	0	0	960	980
	1	30.8	31.0	7.0	0	0	1,900	-
	2	29.9	31.0	6.4	2	1	4,100	550
	5	29.0	31.2	3.3	0	0	200	60
	10	28.4	31.4	2.4	0	0	10	0
	底層 11	28.4	31.4	2.6	0	0	0	0
E 光松 (3.1m) 【14:36】	0	32.0	30.2	6.6	0	0	1,240	680
	2	31.4	30.5	6.8	2	0	1,780	900
	5	29.4	31.4	5.9	2	0	60	80
	10	29.1	31.6	5.6	3	0	0	20
	底層 16.5	28.0	31.6	2.6	0	0	0	0

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン			
	深度	水温	塩分	溶存酸素	カレニア・ パピリオナセア	シャットネラ 属	タカヤマ 属	珪藻
	(m)	(℃)		(mg/L)				
F 大鹿 (3.1m) 【14:45】	0	32.0	30.2	6.5	0	0	1,260	720
	2	31.0	30.7	6.6	1	0	1,360	840
	5	29.3	31.3	5.7	19	0	60	200
	10	28.9	31.5	5.2	11	0	0	0
	底層 16.5	28.0	31.6	2.5	0	0	0	0
G 水試小割前 (3.6m) 【14:57】	0	32.0	30.3	8.9	2	0	2,550	1,650
	2	30.9	30.8	8.4	1	0	2,200	650
	5	29.5	31.5	6.3	11	0	1,120	300
	底層 8.5	29.4	31.6	6.2	1	0	160	120

参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準（※1）	警戒基準（※2）	主な赤潮発生時期 ※3
				浦ノ内湾
シャットネラ属	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	6～8月
タカヤマ属	魚類等のへい死	—	10,000 cells/mL	8～9月

- ※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度
- ※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死 並びに 二枚貝の毒化が想定される密度
- ※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。



A: 鳴無

B: 中学校前

C: 目ノクソ

D: 福良

E: 光松

F: 大鹿

G: 水試小割前